



人口動態統計速報

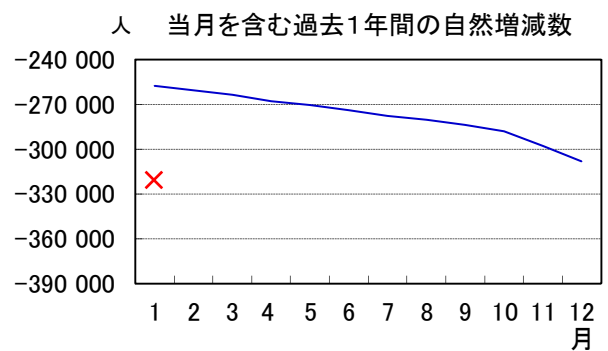
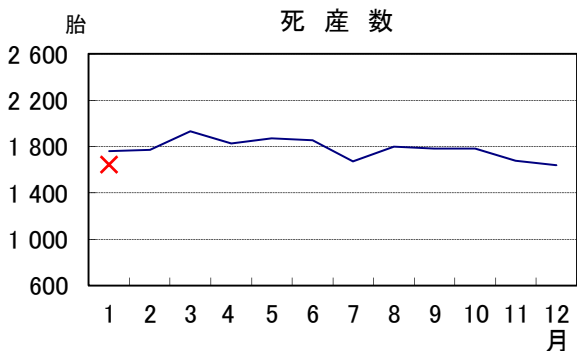
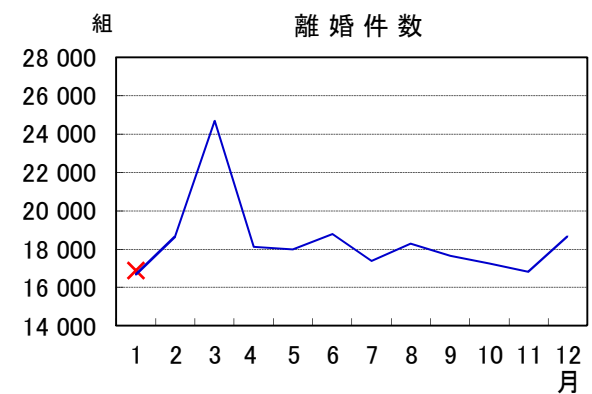
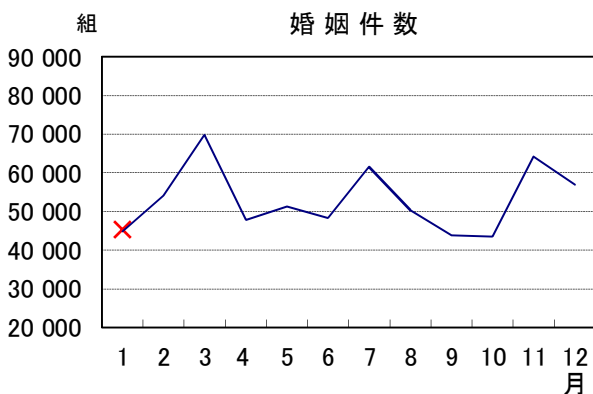
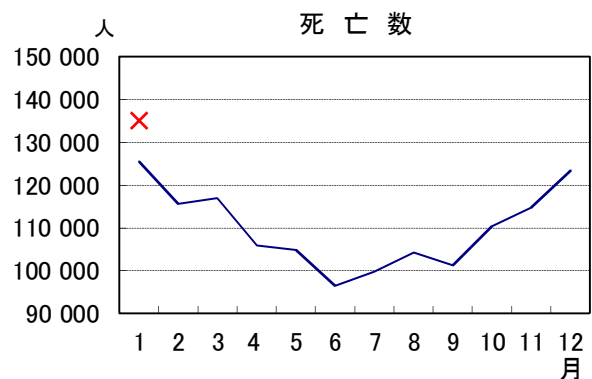
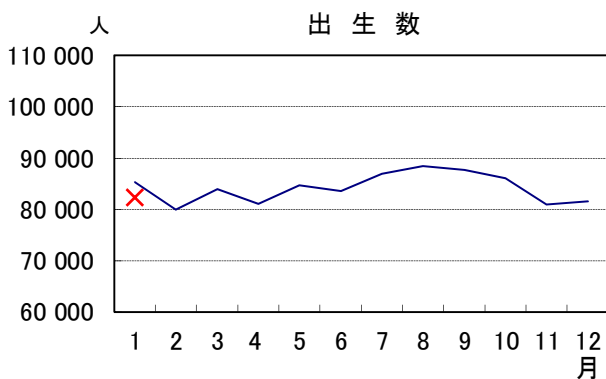
(平成29年1月分)

平成29年3月22日

人口動態統計は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の各事象について、各種届出書等から人口動態調査票が市区町村で作成され、これを収集し集計したものである。

速報の数値は調査票の作成枚数であり、日本における日本人、日本における外国人、外国における日本人及び前年以前に発生した事象を含むものである。

そのうち、日本における日本人についてまとめたものが人口動態統計月報(概数)であり、この月報(概数)に若干の修正を加えたものが人口動態統計年報(確定数)である。



(担当)

厚生労働省政策統括官付参事官付
人口動態・保健社会統計室 月報調整係
(TEL)03(5253)1111(内線 7476)

※H28年1月…H27年2月～H28年1月までの1年間
H28年2月…H27年3月～H28年2月までの1年間
…
H29年1月…H28年2月～H29年1月までの1年間

× 平成29年 — 平成28年

人口動態総覧、対前年比較

	実 数				年 換 算 率		
	平成29年	平成28年	差引増減	増減率(%)	平成29年	平成28年	対前年比
1月							
出生	82 411	85 296	△ 2 885	△ 3.4	7.6	7.9	96.3
死亡	135 091	125 424	9 667	7.7	12.5	11.7	107.4
自然増減	△ 52 680	△ 40 128	△ 12 552	…	△ 4.9	△ 3.7	…
死産	1 645	1 764	△ 119	△ 6.7	19.6	20.3	96.6
婚姻	45 427	44 889	538	1.2	4.2	4.2	100.9
離婚	16 888	16 691	197	1.2	1.57	1.55	100.9
1月から当月までの累計(29年1月～29年1月)							
出生	82 411	85 296	△ 2 885	△ 3.4	7.6	7.9	96.3
死亡	135 091	125 424	9 667	7.7	12.5	11.7	107.4
自然増減	△ 52 680	△ 40 128	△ 12 552	…	△ 4.9	△ 3.7	…
死産	1 645	1 764	△ 119	△ 6.7	19.6	20.3	96.6
婚姻	45 427	44 889	538	1.2	4.2	4.2	100.9
離婚	16 888	16 691	197	1.2	1.57	1.55	100.9
当月を含む過去1年間(28年2月～29年1月)							
出生	1 008 059	1 034 475	△ 26 416	△ 2.6	7.9	8.2	97.4
死亡	1 328 679	1 291 799	36 880	2.9	10.5	10.2	102.8
自然増減	△ 320 620	△ 257 324	△ 63 296	…	△ 2.5	△ 2.0	…
死産	21 267	22 927	△ 1 660	△ 7.2	20.7	21.7	95.3
婚姻	637 060	648 848	△ 11 788	△ 1.8	5.0	5.1	98.1
離婚	221 226	229 666	△ 8 440	△ 3.7	1.74	1.81	96.2

注：前年の数値も速報値である。自然増減は、出生から死亡を減じたものである。

率計算には「人口推計月報」（総務省統計局）により、該当月の総人口（概算値）を用いた。

年換算率の計算式

当月分	出生・死亡・婚姻・離婚率	$= \frac{\text{その月の件数(出生・死亡・婚姻・離婚)}}{\text{その月の人口} \times \frac{\text{その月の日数}}{\text{年間日数}}} \times 1,000$
	自然増減率	$= \frac{\text{その月の出生数} - \text{その月の死亡数}}{\text{その月の人口} \times \frac{\text{その月の日数}}{\text{年間日数}}} \times 1,000$
	死産率	$= \frac{\text{その月の死産数}}{\text{その月の出産(出生+死産)数}} \times 1,000$
1月分からの累計	出生・死亡・婚姻・離婚率	$= \frac{\sum_i (\text{i月の件数(出生・死亡・婚姻・離婚)})}{\sum_i (\text{i月の人口} \times \frac{\text{i月の日数}}{\text{年間日数}})} \times 1,000$
	自然増減率	$= \frac{\sum_i (\text{i月の出生数}) - \sum_i (\text{i月の死亡数})}{\sum_i (\text{i月の人口} \times \frac{\text{i月の日数}}{\text{年間日数}})} \times 1,000$
	死産率	$= \frac{\sum_i (\text{i月の死産数})}{\sum_i (\text{i月の出産(出生+死産)数})} \times 1,000$
	注： \sum_i は1月からその月までの累計である。	
過去1年間	出生・死亡・婚姻・離婚率	$= \frac{\text{その月を含む過去1年間の件数(出生・死亡・婚姻・離婚)}}{\text{その月を含む過去1年間の中央人口}} \times 1,000$
	自然増減率	$= \frac{\text{その月を含む過去1年間の出生数} - \text{その月を含む過去1年間の死亡数}}{\text{その月を含む過去1年間の中央人口}} \times 1,000$
	死産率	$= \frac{\text{その月を含む過去1年間の死産数}}{\text{その月を含む過去1年間の出産(出生+死産)数}} \times 1,000$
	注：H28.2～H29.1の中央人口は、平成28年8月1日現在人口を用いた。	

人口動態総覧、都道府県－21大都市(再掲)別

平成 29年1月

都道府県	出生数	死亡数	死産数	婚姻件数	離婚件数	
全 国	82 411	135 091	1 645	45 427	16 888	
01 北 海 道	2 938	6 035	84	1 814	823	
02 青 森	725	1 751	13	378	180	
03 岩 手	772	1 726	14	388	133	
04 宮 城	1 428	2 315	23	768	297	
05 秋 田	531	1 579	5	220	103	
06 山 形	649	1 509	19	317	102	
07 福 島	1 153	2 478	19	571	231	
08 茨 城	1 822	3 439	31	978	398	
09 栃 木	1 258	2 328	26	612	236	
10 群 馬	1 104	2 312	21	650	230	
11 埼 玉	4 590	6 607	114	2 404	876	
12 千 葉	3 781	6 007	73	2 055	821	
13 東 京	8 910	11 666	191	6 625	1 938	
14 神 奈 川	5 770	7 872	113	3 327	1 226	
15 新 潟	1 385	2 777	22	659	203	
16 富 山	598	1 264	11	296	105	
17 石 川	716	1 288	19	387	128	
18 福 井	522	944	7	218	75	
19 山 梨	531	984	13	301	128	
20 長 野	1 297	2 617	27	644	256	
21 岐 阜	1 320	2 270	26	611	233	
22 静 岡	2 372	4 402	31	1 259	469	
23 愛 知	5 394	6 965	104	2 830	965	
24 三 重	1 050	1 915	25	579	192	
25 滋 賀	1 040	1 364	11	467	156	
26 京 都	1 603	2 755	37	972	338	
27 大 阪	5 802	9 009	104	3 401	1 389	
28 兵 庫	3 741	5 783	53	1 868	733	
29 奈 良	855	1 382	19	436	160	
30 和 歌 山	626	1 278	12	323	121	
31 鳥 取	375	768	12	167	72	
32 島 根	467	951	8	174	75	
33 岡 山	1 291	2 255	26	637	249	
34 広 島	2 014	3 141	41	981	380	
35 山 口	857	1 887	12	421	173	
36 徳 島	458	1 049	8	223	100	
37 香 川	674	1 177	7	331	118	
38 愛 媛	871	1 846	19	446	194	
39 高 知	399	1 004	10	204	107	
40 福 岡	3 715	5 282	79	1 972	783	
41 佐 賀	591	1 020	11	316	91	
42 長 崎	970	1 709	23	461	177	
43 熊 本	1 286	2 203	30	620	245	
44 大 分	734	1 440	16	400	164	
45 宮 崎	833	1 401	14	362	189	
46 鹿 児 島	1 220	2 253	31	603	223	
47 沖 縄	1 373	1 084	31	751	303	
再掲	東京都区部	6 353	7 964	153	5 220	1 410
	札 幌	1 192	1 827	37	810	324
	仙 台	740	889	15	403	139
	さいたま	819	1 014	12	466	148
	千 葉	584	826	7	329	129
	横 浜	2 390	3 175	51	1 395	487
	川 崎	1 067	1 002	24	622	201
	相 模 原	447	661	10	239	102
	新 潟	499	828	12	254	79
	静 岡	436	850	9	248	109
	浜 松	601	843	8	270	97
	名 古 屋	1 588	2 216	40	959	345
	京 都	926	1 576	20	627	199
	大 阪	1 823	2 951	50	1 355	482
	堺	593	870	8	306	134
	神 戸	1 043	1 548	28	558	219
	岡 山	522	688	15	255	96
	広 島	894	1 064	22	484	181
	北 九 州	633	1 098	17	335	147
	福 岡	1 160	1 197	31	782	230
	熊 本	603	722	16	314	101

注：都道府県別の表章は、届出地による。

人口動態統計速報(平成29年1月分)の数値の使用上の注意

人口動態統計速報は次のようなプロセスで作成されています。

出生、死亡、死産が発生した場合、戸籍法等に基づき市区町村に届け出が行われます。また、婚姻、離婚は市区町村への届け出により効力が発生します。市区町村はこれらの届出等から人口動態調査票を作成し、都道府県に提出します。都道府県は、人口動態調査票を報告期限までに厚生労働省に送付します。厚生労働省は送付された調査票の枚数を集計し、速報の数値とします。

前年と比較する場合、熊本地震の影響(調査票到着の遅延等)により、平成28年3月以降の各月の速報の数値は、実態と乖離している可能性があることについて注意が必要です。